

# 膳所 市民ニュース

ZEZE CIVIC NEWS



発行 膳所まちづくり委員会  
編集 情報発信部  
膳所市民ニュース編集班  
(膳所市民センター内 ☎077-524-2205)

## 特集

# 膳所が育んできたスポーツの底力

### 今秋、皆さんもスポーツしてみませんか

暑かった2018年の夏。皆さんはこの夏をどのように過ごされましたか。日本各地で猛暑が連日続き、大津市では最高気温が37.6 と観測史上、最高記録を更新。「こう暑いと外にでる気がしない」と外出をためらう人や寝不足気味で体力が落ちてしまった方も多いのでは。しかし皆さん、秋はもうそこまでやってきています。気象庁によると9月は残暑が残り

ますが、10月はほぼ平年並みとなるそうです。ということで、今号のキーワードは「スポーツ」。元気な膳所の原動力となってきたスポーツと健康づくりの事業に長年、携わってこられた方々のインタビューを紹介します。スポーツの秋の到来間近。皆さんも健康のため、そして親睦と交流を深めていただくため、外に出て、スポーツをしてみませんか。

## 膳所のスポーツの原動力

膳所学区体育振興会会長・堀池 清典 さん

膳所のスポーツが発展してきた原動力に、膳所学区体育振興会(膳所体振)の活動が挙げられます。昭和32年に発足した膳所体振は、膳所のスポーツを牽引する中心的な役割を果たしてきました。活動スローガンに、「いつでも、どこでも、いつまでも楽しめるスポーツを」「スポーツで育も



膳所体振25周年

う地域の輪」などが掲げられており、膳所城跡公園やなぎさ公園・プールなどスポーツ環境が充実。町対抗スポーツ大会やバザー、バス旅行が実施されるなど、スポーツを通じた親睦と交流が膳所のまちで展開されてきました。

膳所体振に携わって約50年。会長を務めて21年目となる堀池清典さん(瓦ヶ浜)に聞くと、他の地域にはない膳所独自の事業も実施してきたとか。今でも続く新春びわこ健康マラソン

や、昭和時代に行われていた36時間ソフトボール大会では、昼間は子どもが、夜からは大人が参加。その名の通り、選手が交代しながら36時間連続でプレーし、ベニア板を20枚以上つないだスコアボードは300回を超え、3ケタの得点となったそうです。

なかでも、膳所学区の一大イベントと言える膳所学区市民運動会は79回の歴史があり、毎年2,000人以上が参加しています。以前は膳所小学校の近所を走るマラソン大会やバザーと同時開催していたときもあり、売り上げは100万円を超えたとか。



### 膳所体振フォトアルバム



## 膳所の水泳人口は多い!?

滋賀県水泳連盟理事長・澤 弘宣 さん

「膳所にはかつて御殿浜や膳所城跡公園に水泳場があり、多くの膳所の住民が琵琶湖で泳いでいた」と語る滋賀県水泳連盟理事長の澤弘宣さん(浜田町)。幼稚園の頃に膳所城跡公園で泳いだ記憶があるという澤さんのお母さん、澤サダ子(旧姓山下)さんは、実は元オリンピック水泳選手です。粟津中学校で水泳を始めた澤さんは、その後、比叡山高校に進学しインターハイに出場。滋賀県チームのキャプテンを務められたとか。昭和56年の滋賀国体を手伝って以来、縁があって今まで役員を務めてこられたそうです。

澤さんに聞くと、昔は夏休みには自治会単位で膳所小学校のプールが使えたそうで、5町内・約50人ぐらゐの子どもたちが芋洗い状態となって楽しんでいたとか。また、かつて膳所市民センターの隣にあったプールや膳所小学校のプールでは、膳所学区体育振興会が主催となり、近年まで膳所水泳教室が開催。滋賀大学の学生さんがインストラクターとなって子どもたちを指導してくれていたそうです。澤さんは「膳所小学校には、膳所在住の鈴木さん(御殿浜二区)、粟津中学校には脇さん(北相模町)という水泳の指導に熱心な先生がおられた。膳所の水泳を育んできたのは、こうした環境や人材があったからでは」と当時を懐かしく振り返ってくれました。

以前は、膳所市民センターの隣にあった膳所市民プール



堀池さんは「半世紀以上続いていた大津市民運動会の大運動会も今年でなくなり、他学区では参加者の減少が叫ばれているが、膳所では今でも2,000人以上の参加がある。膳所のスポーツが長年、培ってきた誇れる成果」と話していました。

今年で第80回目となる膳所市民運動会は9月30日(荒天延期:10月14日)、膳所小学校で開催されます。親睦と交流、体力づくりのため、是非、ご参加ください。

【問】堀池清典 090-2017-6606

## 膳所健推の原点は城下町膳所

膳所学区健康推進協議会会長・清水 智江 さん

国では現在、スポーツを通じた健康増進を図ることにより、健康長寿社会の実現を目指していますが、ここでは、地域の健康づくり事業に長年、大きく貢献してこられた膳所学区健康推進協議会(膳所健推)の皆さんの活動を紹介し

ます。「膳所健推の原点は城下町膳所」と語る膳所健推の会長を務める清水智江さん。「健推さん」の愛称で知ら



れている膳所健推の健康推進員は、健康づくり講習会や料理教室、ふれあい弁当、子どもの居場所づくりなどの事業など、赤ちゃんから高齢者の方々まで、幅広い世代が健康づくりのために長年、活動されています。中でも、地域の寝たきりの高齢者の方々にお弁当を届ける「ふれあい弁当」は、大津市社会福祉協議会の給食事業が始まるずっと前から行っており、「私たちの誇りの事業」という清水さん。

### 健康推進員とは

地域の健康づくりを推進するリーダーです。毎年大津市の主催する養成講座を約1年間受講し、基本的なことを学んだうえで、協議会会員として生活習慣病の予防などの活動を行います。膳所健推では現在2名の方が養成講座を受講中です。

かつて40人いた会員は、現在16人と減ってきたそうですが、「今では、料理の本やスマホで

すぐにレシピが調べられるが、料理教室に来て、みんなでしゃべりながら作るのでは全然違う。とても勉強になるし、何より楽しい。是非、一度参加してみてください」と話していました。

膳所健推では、会員を募集しています。まずは気軽にご見学にお越しください。

【問】清水智江 524-8616





